

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌屯田校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・法令を遵守した職員を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・可動式間仕切り等を使用して、個別療育を行う工夫をし、生活空間に段差は無く一定のバリアフリー化はなされています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・運営会議等を通して、全職員が PDCA サイクルに参画しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者等向け評価表にて事業所の評価を実施し、業務改善に努めています
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・事業所のホームページにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・第三者による評価は現在受けておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・新人の為の初任者研修や事例検討会等の研修を行っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・適切にアセスメントを行い、保護者のニーズ等を踏まえた上で、個別支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・NCプログラム等を導入し、活用する事に努めています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか			○	・個別療育主体の為、基本的に個々で立案していますが、必要に応じて相談しながら立案する事もあります。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・計画に則ったプログラムを立案し、目標に向けた進捗状況を見極めながら、固定化しないよう工夫しています
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・保護者のニーズや利用児童の現状を踏まえて、支援内容を設定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	・個別療育主体の為、集団療育に関してはイベント時に適宜行う場合があります。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・朝礼や社内チャットにて情報共有に努めています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・支援の合間や社内チャットにて情報共有に努めています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・指導報告書作成を徹底しており、それを基に支援内容の検証・改善に努めております。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・モニタリングのスケジュールを立て、定期的にモニタリング会議を開催し、計画の見直しに関して意見を交わし、見直しの必要性を判断しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			・保護者のニーズや利用児童の状態を踏まえて、複数の基本活動を組み合わせ、支援を行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・担当指導員及び児発管が参画するようにしています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・送迎は行っていませんが、学校との情報共有に関して、保護者のご要望や同意があれば、適切に対応しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—	・対象外
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・保護者からのご要望や同意があれば、情報共有等を行っていきます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・保護者からのご要望や同意があれば、情報共有等を行っており、これまでに一度情報共有等を行った実績があります。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・一般財団法人「発達支援研究所」から助言や定例研修を受けています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・個別療育主体の為、基本的に交流する機会はありませんが、今後の検討事項です。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	・参加の案内があれば、その都度検討していきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・フィードバック時に情報共有しています。また、来所が困難な保護者には連絡帳を活用する事や、必要に応じて電話連絡にて情報共有しています。

	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	・現状、ペアレント・トレーニング等を行える職員が不在であり、ご要望があれば検討していきます。
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・利用契約の際の重要事項説明時に、丁寧な説明を行っています。
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・日々の療育後、保護者からの相談に適切に応じると共に、電話や面談での相談にも対応し、必要な助言や支援を行っています。
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・保護者会等は開催していませんが、ご要望があれば、今後検討していきます。
	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・保護者等からの苦情があれば情報共有し、迅速かつ適切に対応するようにしています。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・「元気さ一ち」等に登録し情報を公開すると共に、毎月2回程度ブログにてイベントの告知や様子等を発信しています。
	㉖	個人情報に十分注意しているか	○			・細心の注意を払うと共に、職員間の共通認識として徹底しています。
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・特性を分析し、視覚的に伝える事や、簡潔に伝える等の配慮を心掛けています。
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・個別療育主体の為、地域住民の招待を行っておらず、今後検討していきます。
非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	△			・各マニュアルは策定済みで、毎月防災訓練を実施しておりますが、保護者への周知が不足している為、今後周知出来る様に努めていきます。
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・毎月、地震や火災等を想定した防災訓練を実施し、記録も残しています。
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・虐待に関する研修を実施しています。
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・現状、身体拘束が必要と想定される利用児童の受け入れを行っておりませんが、今後、そういった必要性がある利用児童の利用がある場合は、適切かつ慎重に対応していきます
	㉝	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	・食事提供を行っていない為、特段の対応を行っていません。

	⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・社内ホームページにて全国の事例集を公開して共有している事や、万が一、事業所内でヒヤリハットがあった場合は、記録を残し共有するようにしています。
--	---	----------------------------	---	--	--

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌屯田校

保護者等数（児童数）：38 回収数：14 割合：37%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	2		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	3	1	・スタッフの人数がもう少し欲しいです。（療育を増やせない。） →職員体制を整え、対応に努めていきたいと 思います。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	7		
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	14			
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	14	1		・複数回答 1
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	7	3	・未回答 1
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	1		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	1		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	8	3	・個別支援なので必要ないと思います。 →今後、ご要望があれば検討致します。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	3		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	2		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	14			

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	1		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	2		
	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	11	3		
満足度	⑱	事業所の支援に満足しているか	12	2		<p>・学習に特化したデイサービスでありながら、教材が少ない。例えば、漢字イラストカードなどは是非とも活用していただきたい。他の事業所も利用していますが、学習に特化していなくても漢字イラストカード全学年分や、発達障害に関する書籍（子ども用、保護者用ともに）が豊富に用意されているところもあります。その点は是非改善していただきたいです。</p> <p>→ご意見を真摯に受け止め、改善に努めると共に、現状、漢字イラストカードの代替と致しまして、「漢字はかせ」のカードゲームを用いる事や、指導員が自作した物で対応させて頂ければと思います。</p>

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。